

# 指導方法等の改善計画について [理科]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校48.3%, 県50.8%)

対県比 95.1%

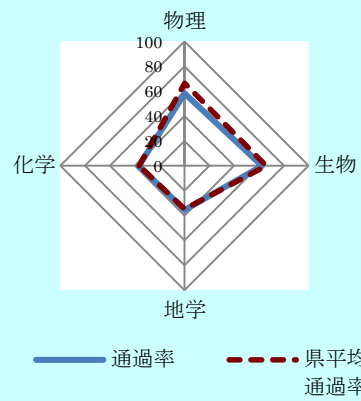
学力定着実態調査 本年度正答率

本校 63.0 %  
全国 61.1 %

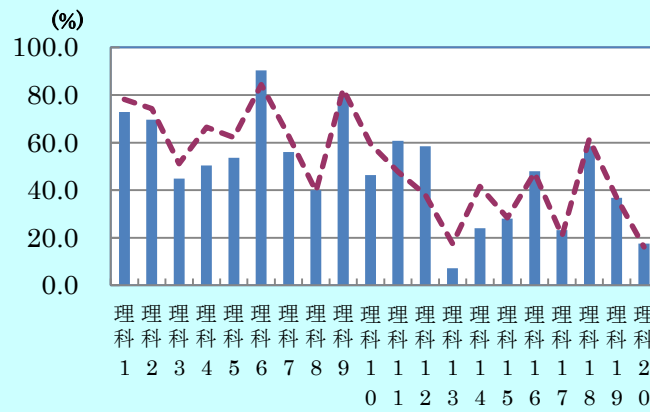
対全国比 103.1 %

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問JWS平均通過率



○全体的な傾向について

- 理科の結果において、タイプIは52.9%、タイプIIは41.3%の通過率となっている。この結果から基礎的・基本的な内容の定着に課題があると考えられる。そのため、知識を活用し、思考したことを表現する内容の課題が大きくなっていると考えられる。特に地学分野の岩石の特定や示準化石について、大きな課題がみられた。
- 昨年度の課題であった物理分野の問題については、観察実験の成果として正答率が上昇した。

## 重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】 ⑤ (3) (7.2%)

岩石が砂岩と判断する根拠を選択肢から選ぶ設問において、正答率7.2%、誤答率92.0%であったことから、この単元において、基本的な知識の習得に課題があると同時に、知識を有機的に結びつける思考力に課題があると考えられる。特に、県の通過率がわずか17.5%という難問になると、その傾向が顕著に表れる。

【課題2】 ⑥ (1) (24.0%)

地質年代を特定するのに使われる生物化石のことを答える設問において、正答率が24.0%に止まっている。このことから、この単元における基礎的な知識の習得に課題が見られる。

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】 目標値 (40.0%) 実施後数値 ( ) %

地学分野に興味・関心がもてるよう、岩石や化石の実物を使ったり、地質学的な面白さを伝える内容を盛り込むといった工夫をする。

また、知識を習得する際、無機的な暗記ではなく、理論的、系統的な説明をもとに、理解しながら、知識として身に付けられる内容にしていく。

【課題2】 目標値 (50.0%) 実施後数値 ( ) %

課題1と同様に、地学分野に興味・関心がもてるよう工夫をしていくと同時に、振り返り学習を毎時間取り入れ、知識の定着を図る。

※今後の改善計画については別紙